

COMPASS

答えの無い問いを探していく。そんな時代だから目指す方位を指し示すものが必要だ。そのようなものに私はなりたい。

令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領が文部科学省から示されました。今回の学力向上通信では、その内容についてお知らせします。

令和4年度からの変更点

- 教科に関する調査について、国語、算数・数学に加えて**中学校調査において英語**を実施します。
- 中学校英語「話すこと」調査及び一部の学校における児童生徒質問紙調査**について、**端末を活用したオンライン方式**により実施します。

令和5年度実施について

『令和5年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領』より抜粋

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日等

(1) 児童生徒に対する調査

調査の実施日は、**令和5年4月18日火曜日**（以下「調査日」という。）とする。

ア 小学校調査

(ア) 教科に関する調査の調査時間は、国語及び算数それぞれ45分とする。

(イ) 児童質問紙調査は、各学校の状況に応じて適切に実施する。

イ 中学校調査

(ア) 教科に関する調査の調査時間は、国語、数学及び英語それぞれ50分とする。なお、**英語の調査時間は「聞くこと」、「読むこと」及び「書くこと」に関する問題は45分とし、「話すこと」に関する問題は5分（準備や移動に要する時間を合わせて15分）程度**とする。

(イ) 国語、数学及び英語（うち「聞くこと」、「読むこと」及び「書くこと」）については調査日に実施する。**英語「話すこと」については、調査日には文部科学省が指定する一部の中学校（500校程度。）で実施する。その他の中学校については、令和5年4月19日水曜日から同年5月26日金曜日までの間で、各学校の希望する日にちを踏まえて調整を行い、学校ごとに文部科学省が指定する日に適切に分散して実施する。**

(ウ) 生徒質問紙調査は、各学校の状況に応じて適切に実施する。

(2) 学校質問紙調査

令和5年4月に実施する。



来年度の調査について、**中学校では、英語の「話すこと」調査の実施日が学校ごとに異なります。**連絡の抜け落ちなどによって、調査当日に学校行事が入ることなどが無いよう、**日程調整に御留意ください。**

「どうすればいいの？」実施に向けての質問コーナー

中学校英語の話すこと調査がオンラインで実施されるなど、変更点があります。

令和5年度の調査実施に向けて心配や不安なことがあるかと思しますので、参考としてください。



教科に関する調査で英語が実施されるのは、平成31年度以来ですが、調査に向けて過去問題を解くなどの対策をしておく必要はありますか？

表面に記載されている目的にもあるとおり、**日頃の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的**ですので、授業時間を使って過去問題を解かせるなどといった、**全国学力・学習状況調査のための練習や対策などは必要ありません。**



中学校英語「話すこと」調査について、MEXCBTを利用したのオンライン調査は生徒にとって初めての経験なので、上手く行えるか心配です。どのような事前準備をしておく必要がありますか？

令和5年2月6日（月）～3月6日（月）を実施時期として、**事前検証を実施**します。そこでは、令和5年度調査と同じ環境で類似問題を用いて、問題の閲覧、解答の吹き込み、録音データアップロードが正常に完了するかを確認します。実施当日と同じ環境で行うため、実際に生徒が動作確認を行うことができますので、その機会を御活用ください。



調査に向けて、事業者からヘッドセットが送付されてくるのですが、返送は必要ですか？

ヘッドセットの返送は不要です。
調査終了後も各中学校で保管・活用をお願いします。



英語「話すこと」調査を実施している間は、他学年の生徒によるネットワークの使用を制限するべきですか？

調査の確実な実施に当たっては、録音データのアップロードが正しくなされないなどのリスクを低減する観点から、可能であれば、当該時間のみ、**他学年の生徒による集中的なネットワークの使用がなされないよう、各中学校において工夫いただければ**と思います。



今後も各学校におかれましては、発出される文書などを参考にしながら、確実な実施に向けての御協力をお願いいたします。